魅力あふれる業界を築き上げる Interview 卸・販売

代表取締役
渕上 啓太

東京都田無市出身。大学卒業後、カーディーラーに就職。30代で独立を志し、友人の紹介で手作り豆腐のテナントを出店する。入店先の都合で店を畳んだ後は石材店に転職。石材の取り扱いはもちろん、霊園開発のノウハウ等を吸収し、（株）清心を起業した。

寺院経営を支える一助をご提案
正しき供養の心を伝えるお手伝い

故人と語らえる唯一の場所――お墓。仏教が日本に広まって以来、残された者たちの“供養の心”を支え続けてきた寺院に、今、少子化という波が静かに押し寄せている。石材店ながら、「御山の役に立ちたい」と経営面から提案を行う（株）清心の渕上社長に、その想いを伺った。

心安らかな供養のために

五十嵐　渕上社長は石材業界に入られて何年目になられますか。

渕上　6年目です。当社では墓石販売を主業務としておりますが、お寺様を訪問させて頂く中で、運営に関する方向性や今後の課題などについてのお話を数多くお聞きしてきました。お寺様の抱えるお悩みに対して、我々にも何かお力になれることがあるのではないかと、墓地の分譲情報を広告やHPなどで広め、墓地契約の仲介から墓石の設計施工までを一貫してご提供することで、新規のお檀家様を募るお手伝いをしております。

五十嵐　それは珍しいですね。今までの石材店というと、既に寺院と檀家の関係ができている段階で、墓石を建てる時になって初めてその間に入るというイメージだったのですが。

渕上　そうですね。どちらかと言えば受け身なことが多い仕事です。墓石を建てる時というのは、お身内がお亡くなりになった時ですから。でも最近は、元気な内からご本人が新しい墓を建てたいとご希望されるケースも増えてきています。

五十嵐　実は私も既にお墓の準備を済ませているんですよ。というのも、夫を亡くした時に、夫の家系の墓が辺れずに納骨する場所がなくて随分困ったんですね。その時、お墓が無かったり遠かったりしたせいで、家族に供養してもらえないのは寂しいなと思ったんです。「生前にお墓なんて縁起が悪い」と敬遠される方もいると思いますが、人はいつか必ず死を迎える訳ですから、いざという時に滞りなく送り出してもらい、遺した家族に偲んでもらえる環境を考えておくことは決して悪いことではないと思いますね。

変わりゆく時代だからこそ土地活用や運営方法の見直しを

五十嵐　現在は千葉・埼玉など関東圏を中心に活動されているそうですが、他の地域への進出は考えていらっしゃらないのですか。

渕上　ニーズがあればお伺いしますが、当社はずっとお付き合い頂ける信頼関係をお寺様と築きたいと考えておりますので、基本的には地元周辺のエリアに限らせて頂いています。

仏事産業は、今でこそ高齢化社会の影響で需要が増えていますが、少子化で長子同士の結婚が増えることにより、やがて両家の墓地を統合されるご家庭が増えていくでしょう。将来的にはお檀家様が2～3割程度減ってしまうと言われています。多くのお寺様が「新しい取り組みをする必要がある」と肌で感じていらっしゃるのです。そこで我々がご提案させて頂くのが、納骨堂やペットの納骨堂、永代供養塔、墓苑整備、霊園事業など、お寺様の限られた土地を新たに有効利用する方法です。前職の霊園開発で培ったノウハウを生かし、地域住民へのご説明や行政の申請など全てに筋を通して、法律上の制約がある宗教法人でも運営費の一助となるようお手伝いさせて頂きます。特に当社で提案しております納骨堂は、直接参拝ができる新しい形状の納骨堂で、大きな土地がなくても始められます。初期費用の全額、または半額を当社負担とさせて頂く方法もありますし、運用管理を含め、ハード面からソフト面までサポートしております。

霊園パース例

五十嵐　頼もしいですね。ペットの納骨堂などは、新たな檀家さんを呼び込むきっかけにもなるでしょう。

渕上　そうですね。それにお寺様自身が運営費を賄う方法を持つことにより、お檀家様の負担を減らすことができます。ご住職様たちは普段、全国各地の法事などに赴かれて、自ら蓄えてはいらっしゃいますが、本堂や客殿、庫裡の維持管理はお檀家様にもご協力頂かないと難しいのです。しかし、お檀家様の減少に伴い、既存のお檀家様の負担が大きくなりすぎると、お檀家様離れのきっかけにならないとも限りません。ですから、ご住職様からじっくり希望や方向性を伺った上で、立地や環境など様々な角度から分析し、お寺様に合った改善策をご提示させて頂いております。

五十嵐　移りゆく時代の中で、寺院もまた変革の必要に迫られているのかもしれませんね。

渕上　日本でこれだけ長く寺院の文化が続いてきたのは、日本人の死者に対する概念と最も相性が良かったからだと思うんです。海外と違って、日本では結婚相手の宗教をあまり気にしませんし、結婚式を教会で行い、お宮参りにも行きますが、ほとんどの場合、葬儀は寺院で行うことが多いでしょう。それはなぜかというと、お寺様なら手厚く供養してくれるという安心と、葬儀や法事の際にも力を貸してくれるという信頼があるからです。ですから、若い方にももっと、お寺様でお墓を建てるメリットが浸透してほしいと思っています。

創業当初から当社では、全員で時間があく限り、お寺様の掃除や草むしりをさせて頂いております。お寺の凛とした空気の中で掃除していると、何故か心が落ち着き、自然と考えがまとまったりアイデアが浮かぶんですよ。これは私共にとっての原点でもあるので、これからも続けて参ります。

私共はあくまで「石屋」です。立場をわきまえながら、末永くお寺様のお役に立ち、お付き合いして頂ける石屋と認めて頂けるよう、これからも精進して参りたいと思います。

▶ 墓地の分譲情報を掲載した広告例。「希望者へのご説明からお寺様との面接の段取りまで、新規檀家様の募集を心を込めてお手伝いします。」

Guest Comment>>

五十嵐 めぐみ（女優）

遺していく家族に気持ち良く送り出してもらうためにも、生きている間にお墓のことを考えておくことはすごく大事なんです。お墓は、故人に逢いにいける唯一の場所ですからね。渕上社長も同様の考えをお持ちで、「そのお墓を守るお寺様を支えたい」というお気持ちが伝わる事業展開には期待が持てました。

Company Data>>

株式会社 清心

〒270-0016
千葉県松戸市小金清志町2-34
TEL 047-701-7400 / FAX 047-701-7403
フリーダイヤル　0120-207-148
URL http://www.gokuyou.co.jp